

第8課 霊の結ぶ実は誠実

安息日午後 今週のテーマ

誠実とは信仰体系を実行に移すこと。特に実行することが難しいときに目的を堅持すること。

「片付け、修理など、身近にある少し面倒くさいと思われることを毎日少しずつ解決してゆく時、前頭葉に体力が付き、持っている知識や経験をうまく組み立て、行動に移すのが上手になる。要するに実行力がつく」(築山節〈河野臨床医学研究所理事長〉)。

日曜日 神は真実

Q. 神様の真実が与える、私たちへの祝福とは？

A. I コリ 10:13→耐えられない試練は与えられない。逃れの道が与えられる。

I テサ 5:23、24→聖なる者としてくださる。 II テサ 3:3→強め、守ってください。

ヘブ 10:23→希望を与えてくださる。

Q. 上記の神の真実の祝福はあなたの人生をどのように変えましたか？

A. 例) 御言葉の上に自分の人生を立てることをの希望と変革を与えてくださった。

月曜日 不信仰——終わりの時の徴 ルカ 18:8 II テモテ 3:1~5

Q. 終わりの時の特徴は？

A. 不信仰。自分を愛する。親不孝。責任転嫁。

幸福のパラドクス(逆説)→「自分自身を幸せにしようとして、幸せになった人はいない」。何故なら欲望はかなえればかなえるほど、肥大してゆき、欲求不満が増えるから。

主の御心をなそうとするとき、幸せはいつのまにか、向こうからやってくる。

火曜日 信仰の模範 ヘブ 11章

Q. ヘブ 11章に登場する信仰の先駆者の原則は？

A. 信仰を行動に表すこと

アベル→献げる。 ノア→造る。 アブラハム→出発する、献げる。 イサク→礼拝する。

ヨセフ→指示する。 モーセ→選び、立ち去り、血を振りかけ、渡る。 ラハブ→迎える。

水曜日 日常生活における忠実 ルカ 16:10

Q. 『教育』54 ページの「人物」に近づくにはどうしたらよいか？

A. 「しかし、こういう品性は偶然にでき上がるものではない。それはまた神の特別な恩恵や天分によるものでもない。高潔な品性は自己修練の結果である。それは肉欲を精神に従わせること、すなわち、神と人に対する愛の奉仕のために自我を克服することによって達せられるのである」(聖書研究ガイド 57 頁の引用文『教育』54 頁の続き)。

「一日幸せになりたければ、宴会を開け、一年幸せになりたければ結婚しろ、一生幸せに暮らしたければ、うそをつくな」(沖縄の諺)。

木曜日 終わりまで忠実 マタイ 25:1~13、24:44~51

Q. 何故、愚かなおとめは油の予備を忘れたのか？また何故、賢いおとめは予備を準備できたのか？

A. 愚かなおとめはランプの使用に慣れていなかった。賢いおとめはランプをよく使用していた。

私たちが日ごろから信仰を行動に移す習慣を身につけたいと思います。

「サタンの弟子が言う、『私は人間に神はいない、と言います』。サタンは答えて『そんなことで人間は騙されない』。二番目の弟子が言う、『私は裁きがない、と言います』。サタンは『人間は罪の裁きを知っている』。第三の弟子が言う、『私は急ぐ必要はない、と言いましょ』。するとサタンは『行きなさい、お前はたかさんの人間を墮落させることができる』」(バークレー『マタイ福音書』下 335 頁)。